

2015年12月1日

報道資料

株式会社UBIC

(東証マザーズコード番号: 2158)

(NASDAQティッカーシンボル: UBIC)

UBIC と Retty、サムライインキュベート、 「食」をテーマに人工知能ハッカソンを開催

人工知能エンジン「KIBIT」を使って、ユニークな「食」のサービスづくりを競う

米ナスダックと東証マザーズに上場し、人工知能を駆使したビッグデータ解析事業を手がけるUBIC（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏）は、Retty株式会社（本社：東京都品川区、CEO：武田和也）、株式会社サムライインキュベート（本社：東京都品川区、代表取締役CEO：榊原健太郎）と共に、第2回目となる「人工知能ハッカソン」を2015年12月19日、20日の2日間にかけて開催します。

今回開催する人工知能ハッカソンでは、「食」をテーマにして飲食店のクチコミデータを、UBICが独自開発した人工知能「KIBIT」（キビット）に分析させることにより、「人間でさえ気づかない、隠れた『つながり』を発掘する」ユニークな新サービスの創出を目指します。

UBICの人工知能「KIBIT」は、言語による伝達が困難な人間の機微を少数の教師データから学習し、「未知なるデータと事象の潜在的な関係性を発見する」ことができます。今回のハッカソンでも「KIBIT」を活用しての多彩な議論が見込まれます。

ハッカソンの詳細・申し込み方法などについては、下記をご覧ください。

■第2回人工知能ハッカソン 概要

日時：2015年12月19日（土）10:00～2015年12月20日（日）20:00

会場：Samurai Startup Island（東京都品川区東品川 2-2-28-2F）

URL：http://event.samurai-incubate.asia/ubic_retty/

UBICでは、「KIBIT」のような人工知能関連技術を使って、現実の課題を解決するサービスの創出ができる人材育成が重要と考えています。本イベントを通じて、優れたエンジニアの育成に貢献していきます。

2015年5月に開催した前回、第1回目の人工知能ハッカソンでは、ビジネスにおける人工知能活用をテーマにし、40名の参加者が2日間に渡ってアイデアとソフトウェアの完成度を競い、大変盛況なイベントとなりました。



【UBIC について】 URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ（電子証拠開示）や、コンピュータフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年に創業。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View®（リット・アイ・ビュー）」、アジア言語に対応した「Predictive Coding®（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。訴訟対策支援で培った UBIC 独自の人工知能は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現、最近では医療やビジネスインテリジェンス、マーケティングなどの領域に人工知能を活用し、事業の拡大を進めています。2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 1,688,433 千円（2015 年 3 月 31 日現在）。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社 UBIC 広報担当 池内

TEL: 03-5463-6380

FAX: 03-5463-6345